

平成26年度

道 徳

会報 No. 10

心輝け 子どもたち！

名古屋市道徳研究会

効果up!『私たちの道徳』

&



魅力ある道徳授業の作り方



明日からの授業に
お役立てください！！

【CD-ROM付き】

今すぐ実践できる指導案
ワークシート・読み物資料等



目 次

は じ め に

平成26年度名古屋市道徳研究会

全体テーマについて・・・・・・・・・・ P. 1

テーマ研究部会・・・・・・・・・・ P. 2

授業づくり研究部会・・・・・・・・・・ P. 21

本年度のあゆみ・・・・・・・・・・ P. 39

あ と が き

CD-ROMの内容

- ・ 学んだことを自分の生き方に
生かそうとする気持ちを高める道徳教育
－『明るい心』『明るい人生』と『私たちの道徳』を
効果的に組み合わせた指導方法－

参考例集と指導案

- ・ 魅力あふれる！道徳の授業
－道徳の授業の新たな可能性を模索して－

指導案

- ・ 平成25年度研究会報（昨年度の会報）

**授業実践、現職教育などに
是非ご活用ください！**



はじめに

現在、道徳教育における最も大きな関心事は、「道徳の教科化」の動向ではないでしょうか。

ここで、道徳教育の歴史を少し紐解きます。

「道徳の時間」が新設されたのは昭和33年の学習指導要領改訂の時です。

それ以降、週1時間の道徳の時間は現在まで続いてきましたが、教科以外の時間、あるいは教科・領域、教科等という表現で扱われてきました。

それが今、「特別の教科 道徳」となり、平成30年度から検定教科書を使っての授業が行われる方向で動き出しています。昭和33年に「道徳の時間」が特設されて以来の大きな変革の時期を迎えています。

中央教育審議会は、平成26年10月21日「道徳に係る教育課程の改善等について」（答申）を文部科学大臣に提出しました。この答申の内容を踏まえて、今後、学校教育法施行規則の改正や学習指導要領の改訂をはじめとする制度改革が進められていきます。

私たち道徳教育に携わる者にとって、道徳教育がクローズアップされることは大変喜ばしいことであるとともに、大きな責任を課せられた感があります。この変革の時に、名古屋市道徳研究会は、市内の先生方にどのような情報提供をして行かなければならないかを考えました。

教科化への過渡期に、文部科学省から発刊された「心のノート」や「私たちの道徳」は、児童生徒一人ひとりに配布され、家庭で活用したり、授業資料として使用したりできる価値あるものです。しかし、これまで多くの学校で活用されてきた「明るい心・明るい人生」（県教振）との併用となり、現場ではこの両者の副読本の活用に苦慮しているという声を聞きました。

そこで、今年度は、「私たちの道徳」と「明るい心・人生」を組み合わせ、て授業を構成する方法を提案することにしました。

名古屋市道徳研究会は、名古屋市の道徳教育発展の充実のために、指導される先生方のお役に立てるように、長年に渡って研究を深めています。

本年度も先生方にすぐに使っていただけるようにと、指導案例や読み物資料等を掲載したCD-ROMを付録としました。ぜひ、ご活用ください。

最後になりましたが、研究の推進並びに会報刊行に際して、ご指導ご助言くださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。また、本研究会の役員・部員の皆様のご尽力に敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

平成27年1月

名古屋市道徳研究会顧問
名古屋市立東山小学校長
佐藤 佳子

1 テーマ

「心輝け！子どもたち」

2 テーマの主旨

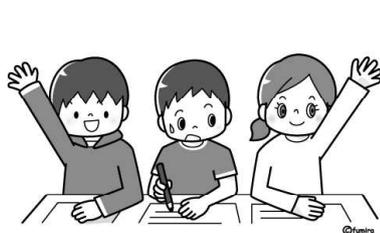
毎日の生活の中で、子どもたちはすてきな笑顔を見せてくれます。私たち教師、保護者、そして、地域の方は、子どもたちの笑顔に励まされ、明日への活力をもらうこともあるはずです。子どもたちの笑顔はまさに宝物であると言えます。

私たちは、子どもたちに対して、周りの人たちと笑顔いっぱい、夢や希望に向かって歩み続けてほしいと願っています。そのためには、子どもたちが見せる成長の様子や、それぞれの発達の段階を考慮して、適切かつきめ細やかな道徳の指導を進めていく必要があります。

また、道徳の教科化が実施されることとなり、文部科学省から『心のノート』を全面改訂した『私たちの道徳』が配布されました。道徳教育への注目度は今まで以上に増しており、私たちは要となる「道徳の時間」をより一層充実したものにしていかななくてはなりません。

そこで、本研究会を2つの部会に分け、テーマ研究部会では『私たちの道徳』と『明るい心』を効果的に組み合わせる指導について、授業づくり研究部会では1時間の道徳の時間をどのように魅力的に組み立てるかにについて、研究を続けました。

私たちは、子どもたちが「道徳の時間」で、「人としてよりよく生きていこう！」と考えることができたときを、「心が輝いている」と捉えました。子どもたちが笑顔いっぱいの生活を送ることができるよう、実践を積み重ねていきたいと考えています。



学んだことを自分の生き方に生かそうとする 気持ちを高める道徳教育

『明るい心』『明るい人生』と『私たちの道徳』を効果的に組み合わせた指導方法

1 研究の内容

本部会では、道徳教育を通して、学んだことを自分の生き方に生かそうとする気持ちを高めたいと考えました。そして、目指す子どもの姿を次のように考えました。

- ① 授業で学んだことを基に、「これからやってみよう」「これからその考え方を役立ててみよう」と考える姿。
- ② 日常生活の中で、授業で話し合った内容を自然と振り返り、「やっぱりそういう気持ちって大切なんだ」ということを改めて実感する姿。

現在、今日的な課題の一つとして、子どもたちが道徳的価値について自ら考え、実際に行動できるようになることが挙げられています。こうした課題を受けて、今年度、『心のノート』を全面改訂した『私たちの道徳』が配布されました。『私たちの道徳』は、道徳の時間以外にも、学校の教育活動全体を通して、また、家庭や地域においても活用されることが期待されています。さらに、読み物資料やコラム、格言など、内容も充実しています。

一方、愛知県内での小・中学校の多くは、道徳の時間に活用する副読本として、長年、『明るい心』『明るい人生』を使用しています。『明るい心』『明るい人生』には、子どもの心に響く多くの読み物資料が掲載されています。本研究部会でも、これまでに、様々な指導方法についての研究を進め、成果をあげてきました。

そこで、本部会では、両者の利点を生かし、『明るい心』『明るい人生』の読み物資料と、『私たちの道徳』の読み物資料やコラム、写真などを効果的に組み合わせた指導方法について研究を進めていくことにしました。そうすることで、道徳の授業でのねらいに迫りやすくなり、学んだことを自分の生き方に生かそうとする気持ちを高めることができるのではないかと考えました。

次に、三つの組み合わせ方を提案したいと思います。



2 『明るい心』『明るい人生』と『私たちの道徳』の組み合わせ方

① 『明るい心・人生』⇔家庭⇔『私たちの道徳』（家庭との連携型）

〔期待できる効果〕読み物資料の中には、子どもたちが身近なこととして考えにくい内容のものもある。そこで、『私たちの道徳』の学習と、道徳の時間との間に、家庭で家族と話し合う時間を取り、保護者とともに、ねらいとする内容について考える。後日、『明るい心』や『明るい人生』と『私たちの道徳』を併用して、その時間にねらう内容について考えていく。そうすることで、児童生徒は、2つの資料の根底にある考え方は、実は同じものであるということに気付くことができる。そして、具体的な問題として捉えたり、視野を広げたりすることで、自分の生き方に生かそうとする気持ちを高めることができる。

実践例：小学校2年生〈主題〉生き物にやさしく 3-(2)動植物愛護

事前に (朝の会、帰りの会など)	私たちの道徳 小学校1・2年 p.104・105 	発問 育てるのが難しいと言われていたシロクマを大きく育てられたのは、飼育員の高市さんがどんな気持ちでピースを育てていたからでしょう。
	高市さん、ピースの命を大切に育てていたんだな。 今日の授業のことを、家でも話してみよう。  【予想される児童の反応】	
家庭で	生き物に優しい心で接することについて、家庭で話し合う	
	今日、シロクマの飼育員さんの勉強をしたよ。とても大切に育てていることが分かったよ。	飼育員さんのように、生き物を育てるときは、優しい気持ちで接することが大切ですね。  【予想される話し合い】
道徳の時間	明るい心「花だんとうばん」	
	【ねらい】身近な動植物の大切さに気付き、優しい心で世話をしようとする気持ちを高められるようにする。 【あらすじ】旅行に出掛けようとしたときに、花壇当番の仕事をやりに忘れていたことを思い出した主人公が、家族に相談し、水やりをするために戻る。	
	発問 家の人とどんな話をしましたか。（事前の活動を想起する）	
	発問 弟から「一日くらい水をやらなくてもだいじょうぶだよ」と言われたとき、主人公のとし子さんはどんなことを思ったでしょう。	
中心発問 （事前の活動を想起させてから）とし子さんと高市さんの気持ちで、似ているところはどこでしょう。		
ぼくたちも高市さんも、生き物を大切にしようという気持ちは同じなんだ！ 		
指示 自分の好きな生き物に手紙を書きましょう。  【期待する児童の反応】		

二つの資料の根底にある大切な考え方

② 『明るい心・人生』 + 『私たちの道德』（1時間完了型）

〔期待できる効果〕『明るい心』『明るい人生』の読み物資料を道德の時間の主たる資料として扱い、『私たちの道德』を「導入」や「展開後段」「終末」で活用する。そうすることで、児童生徒は、『私たちの道德』の詩や問い掛けの言葉などから、日常生活を想起しやすくなり、ねらいとする価値について具体的な場面と結び付けて考えることができ、学んだことを自分の生き方に生かそうとする気持ちを高めることができる。

実践例：小学校4年生〈主題〉命あるものを大切に 3-(1)生命の尊重

【ねらい】生命の尊さを知り、生命を大切にしようとする気持ちを高める。

【あらすじ】ヒキガエルが荷車にひかれることを心待ちにしていたアドルフ達は、ヒキガエルを踏まないように力を振り絞ったロバの姿を見て、ヒキガエルをいじめていたこれまでの行為を振り返る。

道德の時間

明るい心「ヒキガエルとロバ」

場面①石を投げているとき



発問
アドルフは、ヒキガエルに石を投げているときどんな気持ちでしたでしょう。

場面②ロバがヒキガエルをよけたのを見たとき



発問
ロバが、ヒキガエルをよけるのを見たとき、どんな気持ちでしたでしょう。

中心発問

アドルフは、自分とロバの違いについて、どのように考えたでしょう。

このロバは、小さい動物でも、生きていることは同じだから、命を大切にしなければいけないという気持ちをもっているなあ。



【予想される児童の反応】

私たちの道德 小学校3・4年 p.100・101



展開後段

指示（詩を読んだ後）

自分以外のたくさんの命の存在を思い出しながら、今日の授業で命について分かったことを書きましょう。

ぼくも動物も虫もみんな生きているんだ！



【期待する児童の反応】

③ 『私たちの道徳』→生活の振り返り→『明るい心・明るい人生』（生活場面連携型）

【期待できる効果】事前に『私たちの道徳』での指導とともに、毎日の生活場面で、ねらいとする価値についての自分の課題（「だめだと分かっているのに、ついついやってしまうなあ」「分かっているけど、できなかったなあ」など）を見つめさせる。後日、道徳の時間に『明るい心』『明るい人生』の読み物資料を使って考えさせる。そうすることで、児童生徒は、「誰にでも経験のあることなんだ」「これからは気を付けていきたい」などと、身近な問題として捉え、自分の生き方に生かそうとする気持ちを高めることができる。

実践例：小学校5年生〈主題〉自律的で責任ある行動を 1-(3)自由・規律

事前に （朝の会や帰りの会など）	私たちの道徳 小学校5・6年 p.32・33	発問 （p.33を見て）このように思った経験はありませんか。そのとき、どんなことを思いましたか。
		<p>「自由」って言われると、本当はしなくては行けないことも、やらなくてもいいかって気分になるなあ。どうしたらいいかな。</p> <p>道徳の時間までに、自分の生活を振り返ってみよう。</p> <p>【予想される児童の反応】</p>
予告 次の道徳の時間までに、責任ある行動ができているかについて考えておきましょう。		

後日 道徳の時間にて

明るい心「わたしの計画」		
【ねらい】自由と規律ある行動の意義を理解し、規律ある行動をしようとする気持ちを高める。 【あらすじ】「宿題は自由にやりましょう」と言われた主人公が、計画を立てて宿題に取り組もうとするが、次第に計画通りにできなくなり、家族に注意されて悩んでしまう。		
道徳の時間	場面①宿題がないと聞いたとき	場面②このままでいいのか不安になってきたとき
	<p>発問 自分のやり方で自由に勉強することになったとき、「わたし」は、どんなことを考えたでしょう。</p>	<p>中心発問 「わたし」がこのままでいいのかと不安になったのは、どうしてでしょう。</p>
		<p>やっぱり「自由」って楽なことばかりじゃないんだ！だからこそ、自分の行動には、責任をもたないといけないよね！</p> <p>【期待する児童の反応】</p>

3 実践紹介

p. 7～11 ①『明るい心・人生』⇔家庭⇔『私たちの道徳』（家庭との連携型）【授業研究】

小学校6年生〈主題〉公正・公平な態度で 4-(2)公正・公平、正義

(資料) 明るい心「モントゴメリーのバス」 私たちの道徳 p.134

p. 12 ①『明るい心・人生』⇔家庭⇔『私たちの道徳』（家庭との連携型）

小学校6年生〈主題〉希望と勇気をもってくじけずに 1-(2)希望と勇気、不とう不屈

(資料) 明るい心「選手になりたい」 私たちの道徳 p. 22

p. 13 ②『明るい心・人生』+『私たちの道徳』（1時間完了型）

小学校3年生〈主題〉友達の大切さ 2-(3)信頼

(資料) 明るい心「ドッジボール」 私たちの道徳 p. 70、73

p. 14 ②『明るい心・人生』+『私たちの道徳』（1時間完了型）

小学校4年生〈主題〉きまりを守って4-(1)規則の尊重、公德心

(資料) 明るい心「雨のていりゅう所で」 私たちの道徳 p. 118、119

p. 15 ②『明るい心・人生』+『私たちの道徳』（1時間完了型）

小学校5年生〈主題〉世界に目を向けて 4-(8)国際理解

(資料) 明るい心「ノーベルの願い」 私たちの道徳 p. 176、177

p. 16 ②『明るい心・人生』+『私たちの道徳』（1時間完了型）

小学校6年生〈主題〉誠実に生きる 1-(4)正直・誠実

(資料) 明るい心「手品師」 私たちの道徳 p. 40、41

p. 17 ③『私たちの道徳』→生活の振り返り→『明るい心・明るい人生』（生活場面連携型）

小学校1年生〈主題〉よいと思うことは進んで 1-(3)勇気

(資料) 明るい心「おんがくかい」 私たちの道徳 p. 32

p. 18 ③『私たちの道徳』→生活の振り返り→『明るい心・明るい人生』（生活場面連携型）

小学校5年生〈主題〉諦めない気持ち 1-(2)不とう・不屈

(資料) 明るい心「二十五メートルのかべ」 私たちの道徳 p. 18～21

p. 19 ③『私たちの道徳』→生活の振り返り→『明るい心・明るい人生』（生活場面連携型）

小学校6年生〈主題〉みんなによりよい自由とは 1-(3)自由・規律

(資料) 明るい心「お話タイム」 私たちの道徳 p. 29

小学校6年生〈主題〉公正・公平な態度で 4-(2)公正・公平、正義

【組み合わせる効果】 児童が日常生活で、経験する機会が少ない題材である資料「モントゴメリーのバス」と、児童の身近な生活場面を題材として扱った『私たちの道徳』の中の資料を通して、共通する大切なことに気付くことにより、公正・公平な態度で接することの大切さに気付くことができる。



私たちの道徳 小学校5・6年 p.134

発問 (p.134を読んで) 自分がAさんやCさんだったら、どうするでしょうか。

事前の時間①

Aさんだったら「当番だから自分が行くよ」ってBさんに言うと思います。



Bさんに逆らえない感じがするから、ごみ箱を持っていくと思う。

いろいろな意見が出ましたね。家の人は、どんな考えをもっているのでしょうか。家族と話し合ってみましょう。



「Aは行かなくていいよ。」
「C、お前が行けよ。」
「C、お前がごみ箱をおし付けました。」
「Aは行かなくていいよ。」
「C、お前がごみ箱をおし付けました。」
「Aは行かなくていいよ。」
「C、お前がごみ箱をおし付けました。」

【『私たちの道徳』5・6年p.134 掃除の場面の資料】

※ 家庭では、特にAさんの行動について考えてくるよう伝える。ごみ箱を押し付けられたCさんを見た後のAさんの行動や、そのときの気持ちについて考えることで、公正・公平な態度をとることの難しさや大切さについて、家族と一緒に考えることができることをねらった。

家庭での話し合い

Aさんだったらどうするかについて、家庭で話し合う

Aさんが行くべきだと思うけど、Bさんにそう言いにくいような気がするんだよね。



でも、ごみ箱を押し付けられているCさんのことを見て見ぬふりするのはいけないことだね。Aさんは勇気をもって言えるといいね。

【話し合いの様子】

あなたがAさんだったら「ぼくが行くよ」と言ってる、Cのごみ箱をもつ、自分で行く、もういい、自分で行く。

あなたがCさんだったら「今日の当番はAじゃなきゃ」と言ってる、Aさんに「ごみ箱」をわたす。

※ 家庭で話したことを、『私たちの道徳』のページに記録しておくようにさせ、学級での話し合いに生かせるようにする。

どなたがぼくが？と理由を聞いて、当番はAさんと話す

当番がぼくだから自分でごみ箱を受け取り持って行く。

指示 家で話してきたことを発表しましょう。

Bさんのことが怖いから、なかなか言えないよねって、話しました。

これって、いじめだよねっていう話になりました。

Bさんだけじゃなくて、見て見ぬふりをしているAさんもいけないということを話しました。



事前の時間②



みんなの発表を聞いて、どんなことを思いましたか。

【児童の発言】

- ・きっとCは、嫌だと言いつつ返したくても言えないと思う。お母さんもそう言っていました。私もきっと無理。だから、「行くよ」と言ってしまふなあと思いました。
- ・もし、自分がAなら「自分が行く」と言うし、Cでも「分かった自分が行くよ」と言えればいい。
- ・ある意味、いじめだと思う。Bがなぜそんなことを言うのか意味が分からない。絶対おかしいと思います。

いじめは絶対に許せないことですね。それが起きないように、三人にどんな思いがあったらよいのだろうね。今度の道徳の時間に考えていきましょう。

※ 「三人にどんな思いがあったらよいのだろう」と投げ掛けることによって、道徳の時間に向けて、意識をつなげられるようにした。

道徳の時間【公開授業】

『私たちの道徳』 & 明るい心「モントゴメリーのバス」

【ねらい】力や立場は違っても、同じ人間であるということに気付かせ、誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正・公平な態度で接しようという気持ちを高めることができるようにする。

【「モントゴメリーのバス」あらすじ】アメリカ合衆国で、バスの座席をめぐる、黒人が逮捕されたことをきっかけに、黒人たちが人種差別廃絶を訴えて、バスボイコット運動を起こした。粘り強く運動を続け、ついに、最高裁判所から人種差別をする州の法律は憲法違反という判決を勝ち取った。

導 入



三人にどんな思いがあったら、よいのでしょうか。

思いやりの気持ち。



自分の意見をはっきり言おうという強い気持ち。



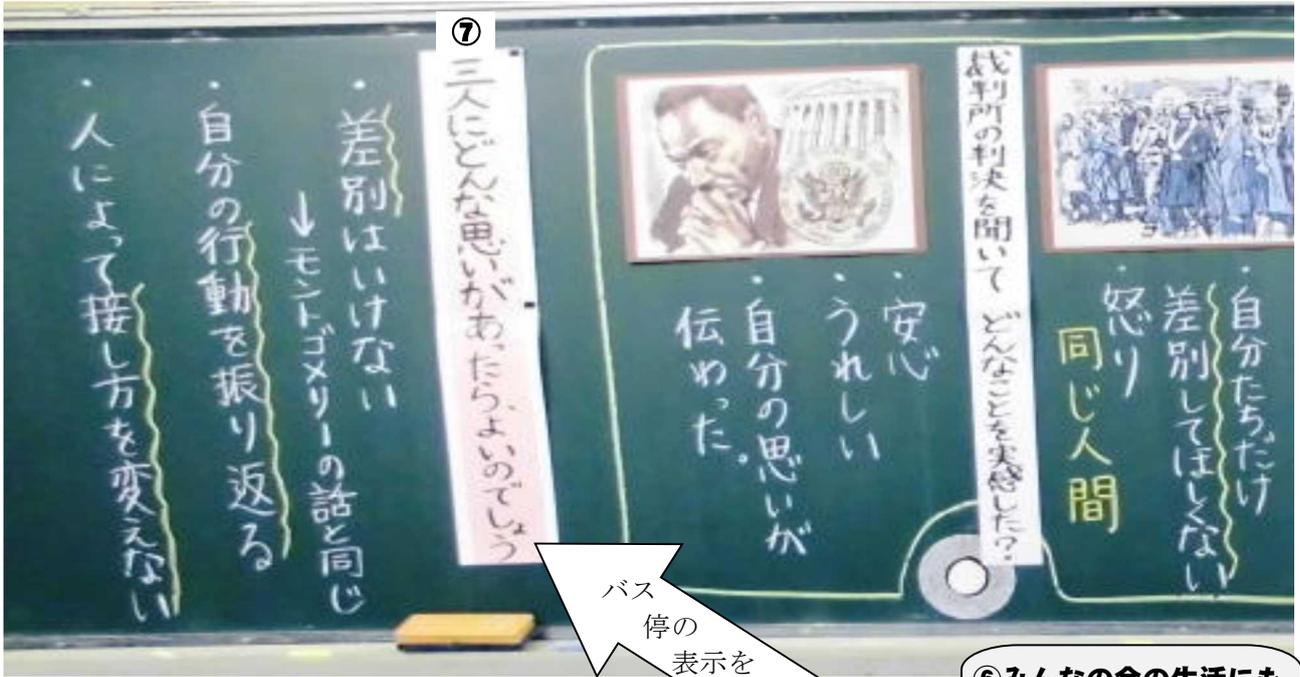
お母さんと「人の気持ちを最優先しよう」と話しました。



【『私たちの道徳』の資料を提示】

今日は、偏った接し方や見方について考えていきましょう。

展開



⑦三人に、どんな思いがあったら、よいのでしょうか。

⑥みんなの今の生活にも、生かせないかな。そこで、もう一度聞きます。

モンゴメリーのバスの話と同じで、差別はいけないという気持ちをもつといいと思う。

Bさんは、Aさんには優しく、Cさんにはきついように感じるから、人によって接し方を変えてはいけないと思う。



終末



⑧今日、みんなが考えた「思い」があふれたら、きつともっと良いクラスになりますね。

⑤（板書のバスの中を指しながら）今日考えてきたことはアメリカの昔の話です。この考え方って……



まとめ

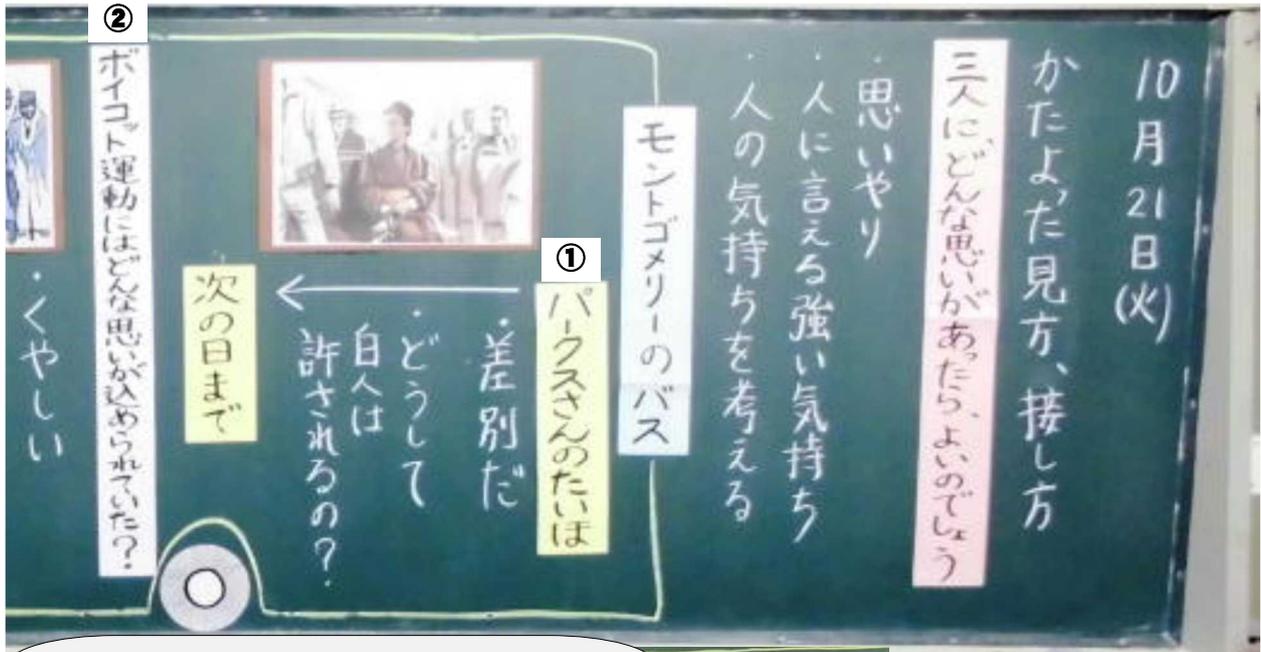
【授業後の感想】

- 私は、友達によって接し方を変えてしまうことがある。これからは、そういうことのないようにしたい。
- ぼくは、みんな同じように接しているつもり。これからも気を付けたい。
- やはり、差別はいけない。自分も外国の方を見たときに、違った人として見てしまうことがあるのでやめたい。

黒人も白人も同じ人間だから、接し方を変えるのはおかしいから。自分も、黒人なら、一人の人間なのに、なんで差別されるんだろうって思う。

ただ肌の色が違うってだけで、白人も黒人も同じ人間だから。

逆に、「なんで差別するの？」って、ぼくは思います。



② そんな気持ちが、ボイコット運動につながったんですね。暑い日も、脅しの手紙が届いてもボイコット運動を続けました。ボイコット運動には、どんな思いが込められていたのでしょうか。

なぜ、自分たちだけ差別されるんだろうって許せないという気持ちかな。

グループで話し合い



差別される側の気持ちを白人たちに分かってほしいと思っています。

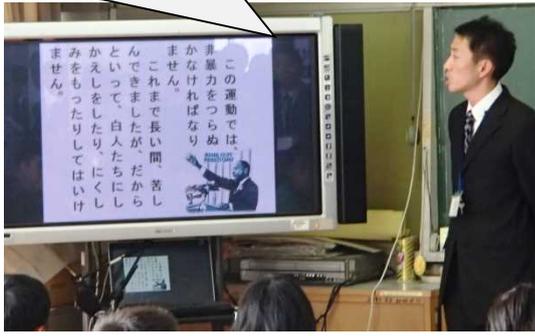
① バスの席を譲らなかったらパークスさんは、逮捕されてしまったんだよね。パークスさんが逮捕されたから、次の日まで、黒人たちは、どんなことを考えていたのでしょうか。

差別だと思う。

なぜ、自分勝手な行動が、白人だけ許されるのだろう。

全体で発表すると、「悔しい」という気持ちが続いたので…

④ (キング牧師の演説を再度読み) キング牧師も非暴力で、ということをやっていたね。では、どうして差別はいけないのでしょうか。



③ 悔しいという思いを、黒人たちは、なぜ力を使って訴えなかったのだろう。



ただ差別をしてほしくないだけで、殴っても、何も生まれず、意味がないことだからです。

研究協議会 ～質疑応答～



最初と最後の発問が同じだったのは、なぜですか？

《回答》

同一発問は、導入では、これまでの自分の考えを明らかにすること。後段では、授業を通して、友達の見解を聞き、考えが深まった意見を発表できるようにすることを意図して行いました。



導入と展開後段の同じ発問では、後段の方が、発言の内容の質が高まっていると感じました。

『私たちの道徳』 p.134 で、家庭でどんな話をしたのでしょうか。

《回答》

三つに大別していました。「なかなか分かっているけど、言えないよね」。「『ゴミ捨ててくらい、自分が行くよ』という気持ちをもつといいよね」。「いけないものはいけないとはっきり言わないといけない。Aさんも、何も言わないのはいけない」の三つです。今回の授業の導入などで、家庭での話し合いを生かせることができるように考えました。



「モントゴメリーのバス」という資料と、『私たちの道徳』の掃除の場面の資料とでは、内容に差があるように感じました。この二つを組み合わせることで授業を行った理由を教えてください。

《回答》

「モントゴメリーのバスの話は、他の国で起きている話だから」と、自分の生活と結び付けて考えることが難しいと思います。しかし、『私たちの道徳』の掃除の場面の資料と組み合わせることで、「モントゴメリーのバス」で学んだことが、自分たちの身近で起こるかもしれない“いじめ”の問題を解決する考え方に生かされると気付いてほしいと考え、組み合わせることで授業を行いました。

ご指導・ご助言 (○成果 ●課題 ◇今後への方向性)

- 公正・公平の学習は、抽象的なものになりやすい。しかし、今回の授業は、子どもたちが人間の公正・公平の大切さに迫ることができていた。
- 人としてどうあるべきか、どう生きていくべきかを考えさせる授業であった。子どもたちが、自分の思いを自分の言葉を使って発言していたことが良かった。
- 子どもたちの発言が行為で終始しないよう、行為の元となる心情に焦点を当てて考えを深めさせるようにすると良い。
- ◇ 今回の授業のように、『私たちの道徳』を家庭や地域に持ち帰って、学校以外の場所でも活用してほしい。

① 『明るい心・人生』 ⇄ 家庭 ⇄ 『私たちの道徳』（家庭との連携型）

小学校6年生〈主題〉希望と勇気をもってくじけずに 1-(2)希望と勇気、不とう不屈

【組み合わせる効果】



主人公の心情の変化について考えた後、『私たちの道徳』を使うことで、自分たちの身の回りにもきまりがたくさんあり、きまりを守ることは、みんなが気持ちよく生活していくために大切なことだということに気付かせることができる。

事前の時間

私たちの道徳 小学校5・6年 p.22



指示

「ヘレンと共に」を読んで、感想を発表しましょう。

思うようにいなくて、悩んだときもあったけど、最後まであきらめずに、ヘレンのために頑張るサリバンさんがすごいなと思いました。



【児童の意見】

指示 「あきらめない心」とはどんな心かについて、家で話し合ってみましょう。

家庭での話し合い

「あきらめない心」とはどんな心かについて、家庭で話し合う

サリバンもだけど、内村航平選手もあきらめずに取り組んだってことが『私たちの道徳』に載ってたよ。



努力を惜しまないってことが、「あきらめない心」なんじゃないかな。夢をかなえる第一歩かもしれないね。

道徳の時間

明るい心「選手になりたい」

【ねらい】自分の目標を達成するために、困難にくじけず、最後まで粘り強くやり遂げようとする気持ちを高めることができるようにする。

【あらすじ】運動が得意でない主人公が、バスケットボール大会の選手になるために、部活動に参加する。最後まで練習に参加し続け、練習最終日、ついに選手に選ばれる。

発問 家の人とどんな話をしましたか。（事前の活動を想起する）

発問 経験の差を思い知らされた「ぼく」は、どんなことを考えたでしょう。

中心発問 自分の名前が呼ばれたとき、「ぼく」は、どんなことを思ったでしょう。



あきらめなくてよかった！

この話、「あきらめなくてよかった」というところが、「ヘレンと共に」の話と同じだね。



【児童の発言】

発問 あきらめずに努力し続けたことで、良かったと思った経験はありますか。

【記述内容】運動会の組み立て体操で、倒立ができなかったけど、先生や友達のアドバイスを信じて何度も練習をした。それでも、成功するかどうかわからないけど、本番では成功することができてうれしかったです。



② 『明るい心・人生』 + 『私たちの道徳』（1時間完了型）

小学校3年生〈主題〉 友達の大切さ 2-(3) 信頼

【組み合わせる効果】



主人公の心情の変化について考えた後、『私たちの道徳』を読み、友達の大切さについて標語の形にまとめることで、友達の大切さについて考えを深めることができる。

【ねらい】 友達の気持ちを考えることの大切さに気づき、励まし合い、助け合おうとする気持ちを高めることができるようにする。

【あらすじ】 ドッジボールを苦手とするまき子が、あや子やよしおに励まされて、少しずつ自信をもち始め、仲間の大切さを知っていく。

道徳の時間	<p>明るい心「ドッジボール」</p>			
	<p>展開前段</p>			
	<table border="1"> <tr> <td style="width: 33%;"> <p>場面①練習が始まったとき</p> <p>発問 ドッジボールの練習をしているとき、まきさんはなぜ元気がなかったのでしょうか。</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>場面②よしおに拾われたとき</p> <p>発問 よしおさんにボールを拾われたとき、まきさんはどんなことを考えたでしょう。</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>場面③友達から声を掛けられたとき</p> <p>中心発問 よしおさんとあや子さんに声を掛けられたとき、まきさんはどんなことを考えたでしょう。</p> </td> </tr> </table>	<p>場面①練習が始まったとき</p> <p>発問 ドッジボールの練習をしているとき、まきさんはなぜ元気がなかったのでしょうか。</p>	<p>場面②よしおに拾われたとき</p> <p>発問 よしおさんにボールを拾われたとき、まきさんはどんなことを考えたでしょう。</p>	<p>場面③友達から声を掛けられたとき</p> <p>中心発問 よしおさんとあや子さんに声を掛けられたとき、まきさんはどんなことを考えたでしょう。</p>
<p>場面①練習が始まったとき</p> <p>発問 ドッジボールの練習をしているとき、まきさんはなぜ元気がなかったのでしょうか。</p>	<p>場面②よしおに拾われたとき</p> <p>発問 よしおさんにボールを拾われたとき、まきさんはどんなことを考えたでしょう。</p>	<p>場面③友達から声を掛けられたとき</p> <p>中心発問 よしおさんとあや子さんに声を掛けられたとき、まきさんはどんなことを考えたでしょう。</p>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>友達が励ましてくれてうれしいな。</p> <p>友達が応援してくれてドッジボールが楽しくなったよ。</p> <p>【児童の発言】</p> </div>			
	+			
	<table border="1"> <tr> <td style="width: 33%;"> <p>私たちの道徳 小学校3・4年 p.70・73</p> <p>展開後段</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>指示（「友達がいてよかった」を読んだ後） 主人公のように、友達の大切さについて学んだことを、標語にして書いてみましょう。</p> </td> <td style="width: 33%;"> <p>困っているとき、友達に助けられました。友達がいてよかったと思いました。</p> <p>【児童の発言】</p> </td> </tr> </table>	<p>私たちの道徳 小学校3・4年 p.70・73</p> <p>展開後段</p>	<p>指示（「友達がいてよかった」を読んだ後） 主人公のように、友達の大切さについて学んだことを、標語にして書いてみましょう。</p>	<p>困っているとき、友達に助けられました。友達がいてよかったと思いました。</p> <p>【児童の発言】</p>
<p>私たちの道徳 小学校3・4年 p.70・73</p> <p>展開後段</p>	<p>指示（「友達がいてよかった」を読んだ後） 主人公のように、友達の大切さについて学んだことを、標語にして書いてみましょう。</p>	<p>困っているとき、友達に助けられました。友達がいてよかったと思いました。</p> <p>【児童の発言】</p>		

② 『明るい心・人生』 + 『私たちの道徳』（1時間完了型）

小学校4年生〈主題〉きまりを守って4-(1)規則の尊重、公德心

【組み合わせる効果】



主人公の心情の変化について考えた後、『私たちの道徳』を使うことで、自分たちの身の回りにもきまりがたくさんあり、きまりを守ることは、みんなが気持ちよく生活していくために大切なことだということに気付かせることができる。

【ねらい】社会のきまりを守り、進んできまりを守ろうとする気持ちをもつことができるようにする。

【あらすじ】バスが来たときに、雨宿りをしていた列を抜かして先頭に立った主人公の肩を、お母さんが強い力でつかんだ。バスに乗った後も黙ったままのお母さんの姿を見て、主人公は自分の行動について考える。

明るい心「雨のバスでいりゆう所で」

場面①停留所へ走って行ったとき



発問

一番に並ぶことのできたよし子さんは、どんなことを考えていたでしょう。

場面②お母さんに肩をつかまれたとき



発問

お母さんに何も言われないまま並んでいた場所に連れて行かれたときよし子さんはどんな気持ちになっていたでしょう。

場面③黙ったままのお母さんを見つめていたとき



中心発問

お母さんの横顔を見ながら、よし子さんはどんなことを考えていたでしょう。

順番を抜かしたから、周りに迷惑を掛けちゃったなあ。



【児童の発言】

展開

道徳の時間

私たちの道徳 小学校3・4年 p.118・119



みんなが気持ちよく生活していくためには、きまりを守ることが大切だ。

わたしたちの身の回りには、いろいろなきまりがあります。もしきまりを守らなければ、生活がスムーズに進まなくなってしまうかもしれません。

（例）学校のきまりは、校舎の静けさを保つこと、先生の話をきちんと聞くこと、友達と遊ぶときは順番を守ることなどです。

（例）公共の場所では、静かに過ごすこと、ゴミを分別して捨てること、歩道は歩行者専用であることなどです。

（例）交通のきまりは、歩行者は歩道、自転車は自転車道、自動車は車道でそれぞれ進むこと、信号機や標識を守ることなどです。

（例）インターネットやスマートフォンのきまりは、個人情報を守ること、著作権を尊重することなどです。

指示 (p.118を読んだ後)
約束やきまりはどうしてあるのか、今日の授業で分かったことを書きましょう。



たくさんの人たちと気持ちよく生活していくためにも、順番やきまりを守っていくことは大切だということが分かりました。

【児童の記述内容】

終末

② 『明るい心・人生』 + 『私たちの道徳』（1時間完了型）

小学校5年生〈主題〉世界に目を向けて 4-(8) 国際理解

【組み合わせる効果】



ノーベルの気持ちについて考えた後、『私たちの道徳』を使うことで、日本人の中にも、世界に目を向け、日本人として何ができるかを考えた人がいることを知り、世界の人々のために役に立ちたいという気持ちをもたせることができる。

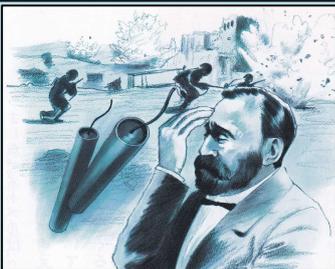
【ねらい】世界の平和に尽くした人の活躍や考え方を知り、世界の人々のために役立っていこうとする気持ちをもつことができるようにする。

【あらすじ】ダイナマイトを発明したノーベルだが、平和利用だけでなく、戦争に利用されたことに対して、心を痛める。そこで、自らの財産を人類の平和や幸福のために貢献した人のために使うことを決める。

道徳の時間

明るい心「ノーベルの願い」

場面①ダイナマイトが戦争で使われたと知ったとき



発問
ダイナマイトが戦争で使われたことを知ったとき、どんなことを思ったでしょう。

場面②遺言状をまとめ始めたとき



中心発問
ノーベルはどんな思いをもってノーベル賞を作ったのでしょうか。



今後この賞が、人々の平和につながってほしい。

【児童の発言】

私たちの道徳 小学校3・4年 p.176・177



(8) 世界の人々とつながって

指示（詩を読んだ後）
日本人にも世界に目を向けて、役立とうとした人達がありました。今日の授業の感想を書きましょう。



坂本龍馬や新渡戸稲造は、世界のために、日本人として何ができるか考えていたんだ！ぼくも、人々のために役に立つような仕事をして、世界に通用する人になりたいな。

【児童の記述内容】

② 『明るい心・人生』 + 『私たちの道德』（1時間完了型）

小学校6年生〈主題〉誠実に生きる 1-(4) 正直・誠実

【組み合わせる効果】



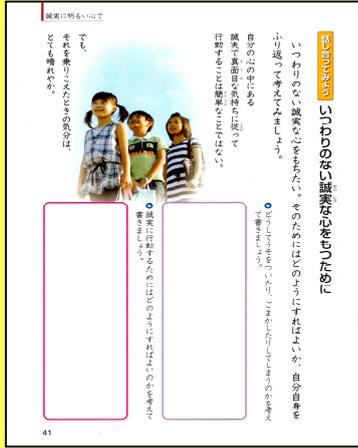
主人公の心情について考えた後、『私たちの道德』を使い、「誠実」という言葉を確認し、手品師の生き方が誠実だということを理解させる。自分たちの生活を見直し、誠実に生きているかについて、振り返って考えさせることができる。

【ねらい】偽りのない言動の尊さを感じ取り、誠実に生活しようとする気持ちを高める。

【あらすじ】手品師は、以前からの大劇場出演の夢と出会った男の子との約束との間で葛藤する。どちらにするか迷う気持ちを乗り越え、決断する。

道徳の時間

展 開	<p>明るい心「手品師」</p>	<p>場面①約束をしたとき</p> 	<p>場面②大劇場出演を誘われたとき</p> 	<p>場面③翌日、男の子の前で手品を披露するとき</p> 	<p>夢だったから、ものすごく悩むなあ。でも、先に約束した男の子を裏切るわけにはいかないし…。</p>
		<p>発問 「きっと来るよ」と答えたとき、手品師はどんな思いだったでしょう。</p>	<p>中心発問 友人に「明日のステージに立ってほしい」と言われたとき、手品師はどんな気持ちだったでしょう。</p>	<p>発問 翌日、たった一人のお客様の前で手品をする手品師は、どのようなことを考えていたでしょう。</p>	 <p>【児童の発言】</p>

終 末	<p>私たちの道德 小学校5・6年 p.40・41</p> 	<p>指示 (P.40を読んだ後) 誠実に行動するためには、どのようにすればよいのか、考えたことを書きましょう。</p> <p>その場しのぎでごまかして、後悔したことがあるなあ。</p> <p>相手と信頼し合えるように、自分の弱さに負けず、正直に生活したいと思います。</p> <p>【児童の記述内容】</p>
--------	---	--

③ 『私たちの道徳』→生活の振り返り→『明るい心・明るい人生』（生活場面連携型）

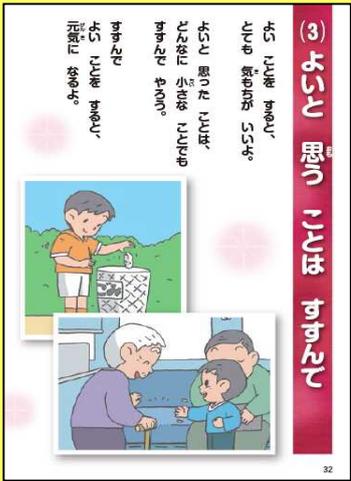
小学校1年生〈主題〉よいと思うことは進んで 1-(3) 勇気

【組み合わせる効果】 『私たちの道徳』を使い、よいことを進んで行おうという気持ちをもたせる。道徳の時間に主人公の気持ちを考えることによって、勇気を出してよいことをすると、気分がよくなるということに気付き、これからも進んでよいことをしようという意欲を高めることができる。



私たちの道徳 小学校1・2年 p.32

事前の朝の会



③ よいと思うことは進んで

発問
(p.32を読んで) どんなことを思いましたか。

よいことをすると、気持ちがいいし、元気になるんだな。よいと思ったことは小さなことでもやってみよう！

【児童の発言】

予告
よいことをすると気持ちがいいですね。よいと思ったことを進んでやってみましょう。

後日 道徳の時間にて

明るい心「おんがくかい」

【ねらい】自分のした行動を振り返り、よいと思ったことは勇気を出して行おうという気持ちを高めるようにする。
【あらすじ】きつねのせいで、音楽会が始まらなくて困っている動物たち。くじけそうだったりすが、思い切って注意し、音楽会が無事に始まる。

道徳の時間

場面①りすが下を向いたとき



発問
「どうしよう」と言って下を向いたりりすさんは、どんなことを思ったでしょう。

場面②他の動物がひそひそ話をし始めたとき



中心発問
他の動物がひそひそ話をし始めたとき、りすさんは、どんなことを思ったでしょう。

発問
りすさんみたいに、勇気を出してはっきり言ってよかったという経験はありますか。

仲直りしたいときに、思い切って、「ごめんね」って言いました。

よいことは、勇気を出してやってみると、気持ちがいいなあ。これからも、やってみようっ！

【児童の意見】

③ 『私たちの道徳』→生活の振り返り→『明るい心・明るい人生』（生活場面連携型）

小学校5年生〈主題〉諦めない気持ち 1-(2) 不とう・不屈

【組み合わせる効果】 『私たちの道徳』を使い、自分が夢に向かって努力していることを想起させる。そして、興味がある人の夢や努力について調べるようにさせる。『明るい心』の資料の主人公と共通することを考えることで、これからもあきらめずに努力し続けようという意欲を高めることができる。



私たちの道徳 小学校5・6年 p.18~21

発問
(p.18を読み、自分の夢を発表した後) 夢に向かって、今努力していることはありますか

事前の朝の会

部活動以外に、家に帰ってからバットの素振り
を毎日必ずしているよ。



【児童の発言】

予告
次の道徳の時間までに、自分が「学びたい」と思う人の夢や努力について、p.21にまとめておきましょう。

【児童の記述内容】→

人物名 コロンブス
その人の夢
いろいろな島を見つける

どよよん努力をしたが
今いたにり、は船や地もまい
のにこわがらずに小さな船で海へ
行った。

学んだこと
他の人からバカにされたけど、
自分のやりたいことをつらぬいたの
下すごいと思った。

後日 道徳の時間にて

明るい心「二十五メートルのかべ」

【ねらい】 つらいことや困難に負けないで、最後まで粘り強くやり通そうとする気持ちを高めることができるようにする。
【あらすじ】 水泳の苦手な「わたし」が、25mを泳げるようになるという目標をもち、くじけそうになりながらも、周囲の励ましを受けて、泳げる距離を伸ばしていき、ついに目標を達成する。

場面① プール開きの日 学校に向かうとき



発問
プール開きの日、学校に向かう広子は、どんなことを考えていたでしょう。

場面② 25m泳ぎ切ったとき



中心発問
みんなの拍手を聞いているとき、広子はどんな気持ちだったでしょう。

指示
「25mのかべ」の広子とみんなが調べてきた人の共通点をみつけて書きましょう。

共通点は、あきらめずに努力して、夢をかなえたところだと思う。私は、よくあきらめることがあるから、これからは、夢に向かって、あきらめずに頑張っていきたいと思います。



【児童の意見】

道徳の時間

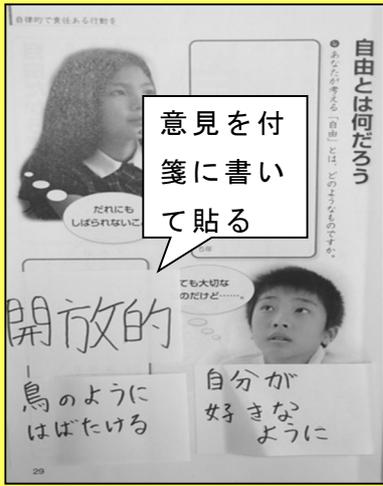
③ 『私たちの道徳』→生活の振り返り→『明るい心・明るい人生』（生活場面連携型）

小学校6年生〈主題〉みんなによりよい自由とは 1-(3)自由・規律

【組み合わせる効果】 『私たちの道徳』を使い、自由について話し合わせる。本当の「自由」とはどういうものかについて、道徳の時間までに考えさせておく。資料を通して、自由とは自分勝手とは違い、責任が伴うことに気付き、規律ある生活を送ろうという意欲を高めることができる。

私たちの道徳 小学校5・6年 p.29

事前の朝の会



発問
(p.29を読んで) 「自由」について、グループで話し合しましょう。



【児童の発言】

予告
次の道徳の時間までに、「自由」とは、どんなことを考えておきましょう。

後日 道徳の時間にて

道徳の時間

明るい心「お話タイム」

【ねらい】自由の意味を理解し、他人の迷惑にならないように規律ある行動をとろうとする気持ちを高めることができるようにする。
【あらすじ】「お話タイム」のときに、周りの迷惑を考えずに大声で笑うグループがあり、主人公は嫌な気持ちになっていた。しかし、家族の話をつきかけにして、主人公は互いの自由について話し合いをしてみようと決意する。

場面①お話タイムで騒がしくなったとき



発問
大声で笑うグループの人たちを見て、主人公はどのようなことを考えたでしょう。

場面②家族で自由について考えたとき



中心発問
(お父さんの話を聞いて)主人公は、どのようなことを考えて、クラスのみんなに自由について考えようと思ったのでしょうか。

指示
今日の授業で考えたことを書きましょう。

みんなが好き勝手に過ごしているのは、よりよい自由は成り立たないと思いました。これから、周りの人にも、自分にも責任をもって過ごしていきたいと思いました。



【児童の意見】

4 まとめ

本部会では、「学んだことを自分の生き方に生かそうとする気持ちを高める道德教育」を研究主題として、『明るい心』『明るい人生』の読み物資料と、『私たちの道德』の読み物資料やコラム、写真などを効果的に組み合わせた指導方法について研究を進めました。その結果、次のような成果と課題が明らかになりました。

【成果】

- 「友達と仲良くする」「きまりを守る」などの道德価値について、『明るい心』の資料だけでなく、『私たちの道德』を使うことによって、なぜ大切なのか、どういう気持ちになるからそうしなくてはいけないのかについて考えさせることができた。
- 『私たちの道德』を使って生活場面について考えさせた後、『明るい心』の資料を使って考えることで、学級の中で、勇気をもって注意したり、あきらめずに頑張ろうとしたりする姿が見られ、授業で学んだことを大切にしようとする意識が続いていることが分かった。
- 昔の話や海外の話など、子どもたちにとって日常生活で経験する機会が少ない内容の資料だけで授業を行うよりも、子どもたちの身近な生活場면을扱った資料と共通する大切なことに気付かせながら授業を行っていくと、自分たちの言葉でどうして大切なのかについて語らせることができ、理解を深めることができた。

【課題】

- 特に、1時間完了型では、『明るい心』と『私たちの道德』のどちらの資料でも「子どもたちに考えさせたい」場面があるため、時間配分が難しくなってしまった。資料の提示の仕方を工夫したり、ポイントとなる場면을より精選して発問したりすることで、子どもたちにじっくりと考えさせる時間を確保する。また、学んだことを自分の生き方に生かそうとする気持ちを高めさせられるようにしていきたい。

実践を行った部員の感想です。

『私たちの道德』が今年度配布され、どのように活用してよいかよく分かりませんでした。部会を通して、『明るい心』と『私たちの道德』の組み合わせ方を学ぶことで、自分では思い付かなかった活用方法を知ることができ、実践することができました。

子どもたちも、普段の生活の中で、「そういえば、この前、道德の時間で勉強したよね」と、きまりを守ったり、友達と仲良くしたりする様子を見ることができ、学んだことが、子どもたちの中で生きているなあ、と感じることができました。



魅力あふれる！道徳の授業

—道徳の授業の新たな可能性を模索して—



1 研究の内容

「これは道徳の授業？」「道徳の授業として取り組んでいいこと？」など様々な疑問をいただくことがあります。「道徳の授業は何のために行うのか」「読み物資料を活用する意味は」などを追求しながら、より子どもの心が輝くような魅力あふれる道徳の授業を目指したいと考えました。

平成 30 年度からは道徳の「教科化」が実施されようとしています。この機会に道徳の授業の新たな可能性をさらに模索する必要があると考えます。

昨年度の部会では、指導方法の工夫を生かした授業づくりについて研究をしてきました。その成果と課題から、子どもたちにとって、道徳の授業が“ときめく”時間になるためには、「導入」から「終末」に至るまで子どもたちの集中力が途切れず、子どもたちが夢中になって「自己の生き方」を考えたいような指導方法の工夫が必要であると考えました。

そこで、本年度は、新たな指導方法の探求と「私たちの道徳」の効果的な活用方法も追求しながら魅力あふれる道徳の授業を目指したいと考えました。そして、道徳の授業づくりについて研究し、だれでも活用できる「ポイント」や「コツ」を模索していこうと考えました。

2 今年度の部会運営について

【今年度の部会の流れ】

1 近況報告タイム

道徳や学級経営の悩み・疑問などを出し合います。

2 道徳座談会

出された悩み・疑問について耳を傾け、ヒントや解決策について話し合います。

3 学習会

「これは使える！導入アイデア集」「板書で子どもの目が変わる道徳の授業」などのテーマを設定して演習を行いました。学習指導要領のポイント、実践例、演習資料を盛り込んだ学習用の資料を用いて、道徳の授業における指導方法の「ポイント」や「コツ」を学び合いました。

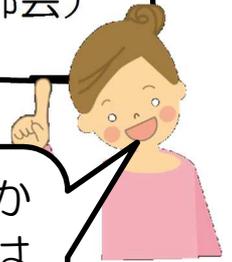




Q：小学校高学年や中学生の心に響く
道徳の授業がしたいのですが・・・

Q：ねらいになかなか迫る
ことができません。
どうすればよいので
しょうか。

A：もちろんできます。多様な考
え方が出る発問を心掛けていき
ましょう。 (第8回部会)



A：子どもの意識が流れる発問かどうか
見直してみましよう。特に中心発問は
22分30秒 (授業の前半) までに
しましよう。 (第7回部会)

魅力あふれる授業のポイント



Q：道徳の授業の板書は縦書き、
右から書くのが基本ですか。

A：主資料に合わせてましよう。子ど
もたちにとって魅力的で思考の
流れが分かる板書にすることが
大切です。 (第3回部会)

Q：子どもたちを引き付け
る導入がなかなかでき
ません。ポイントはあり
ますか。

A：導入では「雰囲気をもめる」
「資料への関心をもめる」
「価値への意識をもめる」
ことを意識してみましよう。
(第2回部会)



1年生

やさしくするって、うれしいな♪

2-(2) 思いやり・親切

<授業者の思い>

「はしのうえのおおかみ」(『明るい心』1年)で意地悪なおおかみが、
まに優しくされ、優しい行動ができるようになったおおかみの気持ちの変化
について話し合う。そして、学級の友達のことを思い浮かべ、友達に優しく
するよさに気付き、友達に優しくしようとする行動を期待したい。

魅力あふれる授業への 設計図

- ① 歌を歌って雰囲気をよくします。
- ② 身近な話題から始めます。
「友達に意地悪されるとどんな気持ちですか。」



- ③ 動作化をし、おおかみの気持ちを深く考えられるようにします。
- ④ 表情絵を使い、親切にされた時、した時の気持ちを考えます。



表情絵の提示

- ⑤ 教師の説話を聞き、友達に優しくしようとする気持ちを高めます。

【資料名】 「はしのうえのおおかみ」(明るい心1年)

【本時のねらい】

友達や幼い子に対して、温かい心で接し、親切にしようとする心を育てるようにする。

【実践の様子】(○子どもの反応)

導入

- ① 道德の始まりの歌を歌う。
- ② 友達に意地悪されたときの気持ちを話し合う。

友達に意地悪された時は、どんな気持ちですか。

- 嫌な気持ち 悲しい気持ち

展開

- ③ 資料「はしのうえのおおかみ」の紙芝居を見て、おおかみの気持ちについて話し合う。

うさぎを追い返した時はどんな気持ちだったでしょう。

- 俺さまはより強いものはないな。
 意地悪って楽しいな。
 戻れ、戻れ。俺さまは、偉いんだぞ。

おおかみの気持ちを深く考えられるよう、くまとのやり取りを動作化する。(くま役は教師)

くまさんに抱き上げられて後ろに渡された時は、どんな気持ちだったでしょう。

- くまさん、ありがとう。
 くまさんが優しくしてくれたから、うれしいな。
 次にうさぎさんが来たら、譲ってあげたいな。



動作化の様子

- ④ 友達に優しくされたことについて話し合う。

友達に優しくされたことはありますか。その時は、どんな気持ちでしたか。

【優しくされたこと】

- 一緒に遊んでくれた。 転んだ時に助けてくれた。 待っていてくれた。

【その時の気持ち】

- うれしい。 ありがとう。

友達に優しくした方の方は、どんな気持ちだと思いますか。

- よかったな。 喜んでくれてうれしいな。

☆ 優しくされた方も、した方も、表情が笑顔であり、うれしいことに気付かせる。

気持ちを考えやすいように、優しくされた時、優しくした時の表情絵を描かせる。

終末

- ⑤ 教師の説話を聞く。

子どものころ、「一緒に遊ぼう」と友達が誘ってくれてうれしくなり、今度は自分から友達を誘って遊ぶようになった。

進んで 仲良く

2-(2) 思いやり・親切

<授業者の思い>

「ぐみの木と小鳥」(文部省『小学校道徳の指導資料とその利用5』)で、自分の身の安全よりも、病気のりすのことを思いやった小鳥の心情を考えさせる。そして、自分の生活を振り返り、困っている友達がいたら進んで親切にし、仲良くしていこうとする態度を育てていきたい。

魅力あふれる授業への 設計図

展開での指導の工夫

- **資料の語り聞かせでペープサートを活用します。**
ペープサートを使って資料を読み聞かせ、物語のイメージを膨らませます。



ペープサート

- **場面の提示でBGMを活用します。**
嵐の音を聞き風雨が激しい様子をつかませます。そして、りすの元へ実を持って行くことの大変さを感じ取らせることで、小鳥の気持ちに迫って考えさせます。

リスさんの所へ行かない

- **話し合いで心情メーターを活用します。**
心情メーターで小鳥の迷う気持ちを表現させ、その理由を小鳥に共感させて考えさせます。

リスさんの所へ行こう

心情メーター

【資料名】 「ぐみの木と小鳥」(文部省『小学校道徳の指導資料とその利用5』)

【本時のねらい】

友達のよいところに目を向け、友達に親切にして、仲良くしていこうとする気持ちを高めるようにする。

【実践の様子】(○子どもの反応)

導入

- ① 教師から、友達に対して親切な行いをしていた子の話を聞く。

困っている人に親切にしていた友達がいるので紹介します。

- ~さんは優しいな、すごいな。

ペープサートを使い、資料を読み聞かせる。

展開

- ② 資料「ぐみの木と小鳥」を読んで小鳥の気持ちについて話し合う。

ぐみの木に「りすさんが心配です」と言われたとき、小鳥はどんな気持ちになったでしょう。

- ぐみの木さんは、りすさんのことが心配なんだな。
○ ぼくが、りすさんの様子を見てきてあげようかな。

力が出てきたりすさんを見た時、小鳥さんはどんな気持ちになったでしょう。

- 来てよかったな、またぐみの実を持ってこよう。
○ 元気が出てきてうれしいな。

BGMで嵐の音を聞かせる。

嵐の中、小鳥さんは何をじっと考えていたのでしょうか。

心情メーターを使用する。



- りすさんは病気で、命がかかっているから行こう。
○ ぐみの木さんも心配していたから行こう。
○ 嵐で飛ばされて自分が死ぬかもしれないから行くのはやめよう。
○ ぐみの実は、明日どっさり持って行けばいい。



- ③ 小鳥のよいところを話し合う

こんな小鳥さんのことをみなさんはどう思いますか。またそれはなぜですか。

- 嵐の中、りすさんのためにぐみの実を届けたから優しい小鳥。
○ 自分だったら、嵐の中、行くことはできないからすごくいい小鳥。
○ 小さい小鳥なのに、嵐の中ぐみの実を運んだから頑張りやの小鳥。

終末

- ④ 小鳥に手紙を書き、今後の自分の生き方への思いをもつ。

小鳥さんに手紙を書きましょう。

- りすさんのために頑張ったね。私ならできないよ。ぐみの木さんも安心したと思うよ。私も安心したよ。小鳥さんは一生懸命ですごいね。金メダルをあげるよ。

目に見えない心の美しさ

3-（3）畏敬の念

<授業者の思い>

「花さき山」(『明るい心』3年)で自分たちが感じる「美しさ」は、目に見えるものが多いことに気付かせる。そして、資料を通して、どのような心が花を咲かせるのかを考えさせ、自分の身の回りにある「美しい心」を振り返らせ、自分のもつ「魅力」に気付かせたい。

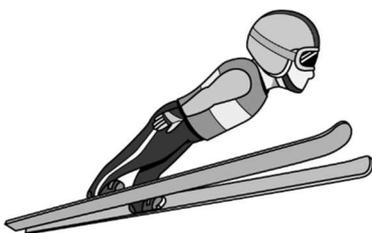
魅力あふれる授業への 設計図

- ① 美しいものについて話し合えます。
「写真（森・海）を見て、共通することは何ですか？」



【提示した海や森の写真】

- ② 他の花を見て感じたことを聞き、花さき山の花がどんなときに咲くのか考えさせます。
③ 友達の優しい行動の発表を聞いて、自分の行動を振り返り、花カードに記入させます。



- ④ 長野オリンピックのテストジャンパーの話聞いて、仲間のために自らの役割を果たす人間のもっている美しさを感じ取らせます。

【資料名】 「花さき山」(明るい心3年)

【本時のねらい】

人の心の美しさにつれ、清らかな心を大切にしていこうとする心情を育てるようにする。

【実践の様子】(○子どもの反応)

導入

- ① 美しいものについて話し合う。

写真(森・海)から共通していることは何ですか。

- 人を助けているからすごい。
- きれいな景色や宇宙、見たことのない昆虫があるからきれい。

展開

- ② 資料「花さき山」を読んであやの気持ちについて話し合う。

あやは、どんなことを考えて自分が咲かせた花を見ていたのでしょうか。

- 妹が着物を買えてよかったな。
- 妹のために我慢したから、この花が咲いたのかな。
- お母さんに迷惑をかけなくてよかったな。

一輪の赤い花を持って考える

青い花や他の花を見て、あやはどんなことを思ったでしょう。

- みんな、よいことをしている。
- たくさんの人が、自分のように我慢している。
- この村には、よいことをする人がたくさんいる。

- ③ 美しい心について、自分の生活を振り返り、話し合う

友達は、どんなときに花を咲かせることができたでしょう。

- けがをしたとき、大丈夫って心配してくれた。
- 勉強で間違えてしまったとき、励ましてくれた。

花カードに優しくできたことを書く。

今までに、自分はどんな花を咲かせることができたでしょう。

- 自分もあやのように、自分が欲しいものを我慢して、弟がほしがっていたものを買ってもらったことがある。
- 校外学習で、お年寄りの方に席を譲ることができた。

終末

- ④ 長野オリンピックの金メダルの裏側で活躍したテストジャンパーについて考える。原田選手の活躍を追うことで、テストジャンパーの活躍に迫るようにする。

テストジャンパーだが、仲間が金メダルを獲得したことを喜んだと思いますか。またそう考えた理由を書きましょう。

- 一緒に戦ってきた人が、金メダルを貰えたから、喜んだと思います。
- 仲間の失敗を、テストジャンプで応援できて金メダルを貰えたから喜んだと思う。



【板書の様子】



よりよい仲間の条件は？

<授業者の思い>

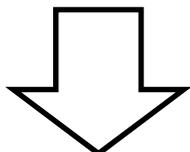
気が合うから。一緒に遊んでいるから。そんな仲間意識を感じている児童も多い。そこで、「ドッジボール」(『明るい心』3年)に出てくる三人の関係を考えることで、見えない支えやそれに応えようとする思いがよりよい仲間になる条件であることに気付かせたい。

魅力あふれる授業への設計図

① 児童の仲間への思いを出させます。



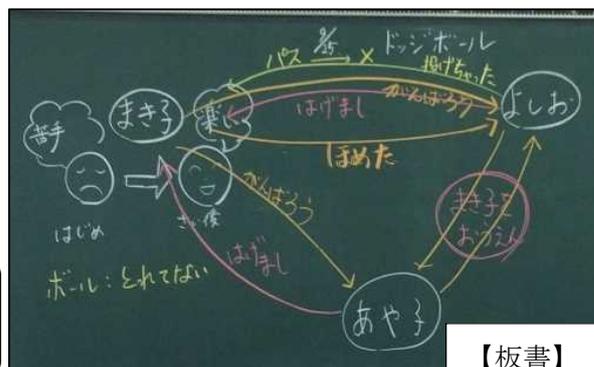
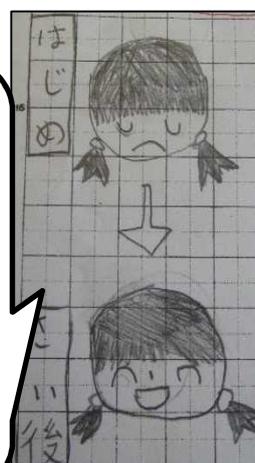
② 板書で主人公を中心に、三人の関係を捉えさせます。三人の関係がよい仲間かどうかを考えさせる発問をすることで、三人それぞれの思いや行動があることに気付かせます。



③ もう一度導入と同じ発問をして、児童の仲間への思いを深めるようにします。

<②の活動時>

主人公の気持ちの変化を右のように表情で書かせることで、その基にある気持ちの変化を考えやすくする。



【板書】

【資料名】 「ドッジボール」(明るい心3年)

【本時のねらい】

相手の気持ちを考えて行動すると、互いにその気持ちに答えようという意欲がわくことを知ること、互いによりよい仲間になっていこうとする気持ちを高めるようにする。

【実践の様子】(○子どもの反応)

導入

① 児童の仲間への思いを発表する。

よい仲間になるには、どんなことが必要ですか。

- 自分から声を掛ける
- 人のことを考える
- いっぱい遊ぶ
- 話し合う
- 協力

展開

② 資料「ドッジボール」を読んでまきこの気持ちについて話し合う。

まきこが楽しくなったのはどうしてでしょう。

- ボールを後ろにそらさなかったから。
- 前より上手くできたから。
- 友達が優しくしてくれたから。
- 励ましがあったから。

☆ 板書に三人の関係を三角形に配置し、児童に「三人の関係ってこの矢印で結ばれるだけかな。」と声掛けすることで、よしおからあやこや、まきこから二人に対する矢印とそれに付随する気持ちや行動もあわせて書かせる。そうすることで、三人の関係がより深くつながっていることに気付かせることができる。

この三人はよい仲間だと思いますか。

- 三人で楽しくやっているからよい仲間だと思う。
- 苦手なまきこさんにも優しくしているところがいいな。
- 励まされたから頑張ろうとするまきこさんもえらい。
- よしおもあやこも、みんな互いに励まして、頑張ろうと思合っていると思う。

児童の記述

終末

③ 児童の仲間への思いを深める。

よい仲間になるためには、どんなことが必要ですか。

- もっと協力して、それに答えようと頑張ること。
- 見える頑張りだけじゃなくて、見えない部分でもつながろうとする気持ち。

自分の良さをのぼして

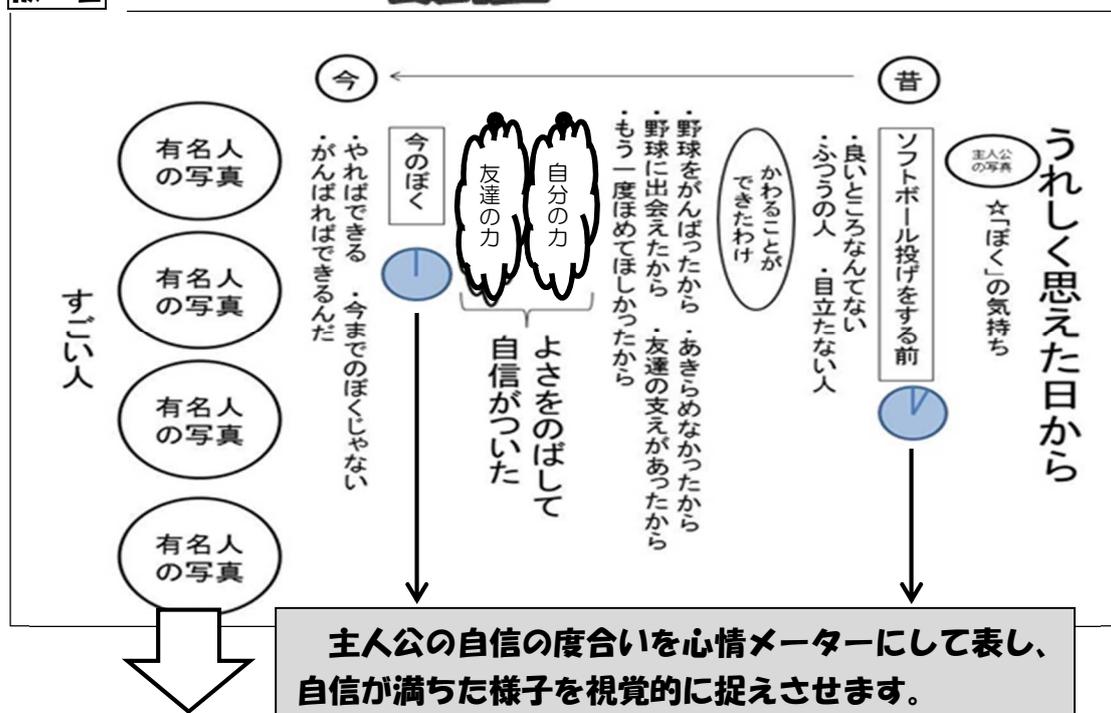
1 - (5) 個性伸長

<授業者の思い>

「うれしく思えた日から」(『私たちの道徳』3・4年)で、良さを伸ばすことについて話し合う。そして、自分の良さを友達に教えてもらったり、自分で考えたりすることで、改めて自分の良さに目を向け、自分らしさを発揮していこうとする意欲をもたせたい。

魅力あふれる授業への設計図

板書



この後、友達に自分の良さを教えてもらったり、自分で自分の良さについて考えたりすることで、良さを伸ばしていこうとする気持ちを高めます。

【資料名】 「うれしく思えた日から」(私たちの道徳3・4年)

【本時のねらい】

自分の良さを伸ばし、自分の可能性を広げ、自分らしさを発揮していこうとする気持ちを高めるようにする。

【実践の様子】(○子どもの反応)

導入

① 良さを伸ばして活躍した有名人について知る。

この人たち全員(スポーツ選手、歌手など)に言えることはどんなことだと思いますか。

○ 有名な人。 ○ すごい人。 ○ テレビに出ている人。

☆ みんなが知っているすごい人だということをおさえる

どうしてすごくなれたのでしょうか。

○ 頑張ったから。 ○ 才能があったから。 ○ 努力したから。

展開

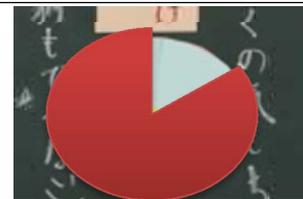
② 資料「うれしく思えた日から」を読んで主人公の気持ちについて話し合う。

ソフトボール投げをする前のぼくは、自分のことをどう思っていたでしょう。

○ 何もできないからくやしい。
○ 全然なにもできないからだめだ。

今のぼくは、自分のことをどう思っているでしょう。

○ いろいろなことができるようになって、うれしい。
○ 何でもできる。



主人公の自信の度合いを心情メーターで表す。

(二つの場面の心情メーターを比較して)
ぼくがこんなに変わることができたのはどうしてでしょう。

○ いっぱい練習をしたから。
○ 成長したから。(努力したから成長した。)
☆ 良さを伸ばして自信がついたことを押さえる。

終末

③ 今までの友達や自分のことを振り返る

今の自分の良いところはどんなところだと思いますか

☆ 意見が出づらいため、まずは友達の良いところをワークシートに書き発表し合う。
(友達の発表を聞いた後)
○ 自分は勉強を頑張っている。 ○ 足が速い。
○ どんなことがあってもあきらめない。

5年生

チームメイトとして

2-(2) 思いやり・親切

<授業者の思い>

児童の関心が高いサッカーの内容で、人を思いやることのすばらしさに気付かせる。そして、事前・事後活動を取り入れることで、継続的に思いやりについて考え、さらに仲間とともに頑張ったり、助け合ったりする気持ちにまで高まることを期待したい。

魅力あふれる授業への 設計図

次回予告

5月21日(水)号

ワールドカップ開幕まであと24日

5年3組 柳田ジャパン
サッカーの道徳 3連発

第1弾は 思いやり



次回! 5月27日(火) 5時間目
絶対に負けられない戦い、そこにはある!



○ 事前に掲示板に授業内容の予告をする。



② それぞれの立場でどんな言葉を掛けるのかを考えさせます。

- ・チームメイトだったら…
- ・監督だったら…
- ・相手チームだったら…

③ これからどんな思いやりを発揮していきたいか発表させます。



④ プリントを家庭に持ち帰り、保護者と一緒に、再度考えさせます。



【資料名】 「PKを外してしまった駒野選手」(自作資料)

【本時のねらい】

誰に対しても思いやりの気持ちを持ち、相手の立場になって親切にする気持ちを高めることができるようにする。

【実践の様子】(○子どもの反応)

導入

① 失敗に対する自分の思いを話し合う。

自分が失敗したとき、どんな言葉を掛けてほしいですか。

- 慰めてほしい。 そっとしておいてほしい。

展開

② それぞれの立場でどんな言葉を掛けるか考え、話し合う。

それぞれの立場でどんな言葉を掛けますか。

チームメイトの松井選手だったら、どんな言葉を掛けますか。

- 次に向けて、一緒に練習していこう。
 誰も責めていないから大丈夫。
 自分も泣きたいけど、外してしまった選手が自分を責めてしまうから、泣かずに、「こういう時だってあるさ」と言う。

自分を選んだ岡田監督だったら、どんな言葉を掛けますか。

- このプレッシャーの中で外しても、駒野選手のせいじゃないよ。
 落ち込んだら前に進めないぞ。
 これが最後の試合じゃない。次のワールドカップで悔しさを晴らそう。

対戦相手のバルデス選手だったら、どんな言葉を掛けますか。

- 君はすごい選手だったよ。自信をもって。
 負けるのは悪いことではないよ。次、頑張ろう。
 君が外したシュートは、ぼくが次の試合で代わりに決めてくるよ。

終末

③ 今後、思いやりをどう表現していきたいかを考える。

今日学んだことを、今後の自分にどう生かしていきたいですか。

- 仲間と一緒に悔しい気持ちを分かち合って仲間を思いやることで、互いに成長できると思う。
 誰かが失敗しても、一人のせいではなくみんなのせいだと思うから、みんなで一から頑張ろうと周りにも言って、全員で失敗した人を責めないようにしていきたい。
④ 家庭にプリントを持ち帰り、保護者と話し合ってくるように伝える。

誠実に生きる

1-(4) 正直・誠実、明朗

<授業者の思い>

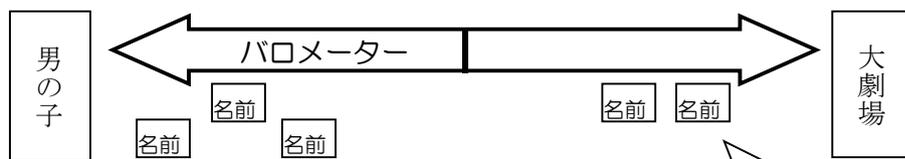
「手品師」(『明るい心』6年)を通して、誠実に生きることは、どうかを考える。自分と主人公の気持ちを重ね、自分だったらどう行動するのかを討論することで、人生の分かれ道に立ったとき、真摯に誠実に考え、自分のあるべき姿を選択し行動しようとする気持ちを高めさせたい。

魅力あふれる授業への設計図

- ① 手品を披露します。
- ② うそをついて行動した経験について発表させます。



- ③ 手品師の立場にたって、自分だったらどう行動するかを討論します。
☆ 自分の立場をネームプレートで貼らせます。



- ④ 誠実に生きるためにはどのように行動するとよいのかを考えさせます。→「私たちの道徳」の活用

手品師が最後にどんな決断をしたのかは、隠しておきます。

【資料名】 「手品師」(明るい心6年)

【本時のねらい】

誠実に生きることの素晴らしさに気づき、明るく正直に生きていこうとする気持ちを高めるようにする。

【実践の様子】(○子どもの反応)

導入

- ① 手品を見る。
- ② どうしてうそをついてしまうのか考える。 → 「私たちの道徳」P40～41

どうしてうそをついたり、ごまかしたりしてしまうのかを考えて書きましょう。

- 自分の都合だけを考えて行動するから

展開

- ③ 資料「手品師」を読んで手品師の気持ちについて話し合う。

「きっとさ。きっと来るよ。」と言った手品師は、どんな気持ちでしたか。

- 明日も喜ばしてやろう。
- 時間があるし喜ばれるから行こう。
- 手品を続けていてよかったなあ。

ここでは、手品師が最後にどんな決断をしたのかは、伝えない。

友人から電話を受けて迷っている手品師。あなたが手品師ならどうしますか。

- 夢のために大劇場へ行く。
- 最初に交わした約束を守りたい。
- きっと男の子は分かってくれるから思い切って大劇場へ行く。

バロメーターにネームプレートを貼って自分の考えを示す。

たった一人のお客さんの前で、手品師はどんな気持ちで手品をしたのでしょうか。

- 男の子が喜んでくれて良かった。
- すっきりとした気持ち。
- やっぱり約束を守って良かったという気持ち。



終末

- ④ 誠実に行動するためにはどうしたらよいかを考える。

誠実に行動するためには、どのようにすればいいのかを考えて書きましょう。

- 自分勝手な行動をせず、みんなのことを考える。
- 後で後悔しないように、どうなるかをよく考えて行動する。
- うそをつかず、自分に素直になる。

5 部会の成果と課題（部員の声をもとに）

成果1 部員が気楽に参加する雰囲気を作ることができた。

いつも温かく、参加者が発言しやすい雰囲気を作ってくださいるので、落ち着いた気持ちで学ぶことができました。

とてもあたたかい雰囲気の部会です。指導案の検討をするときにも、親身になって考えてくださいます。

成果2 多くのポイントやコツを学び合い、実践に生かすことができた。

研究会では、毎回、学校の道徳の授業や学級経営にすぐに活かせることを紹介していただき助かりました。

参加して、効果的な板書の書き方、発問の仕方、導入の仕方などを学びました。

成果3 様々な道徳の授業の展開の仕方を学ぶことができた。

道徳の授業の組み立て方を基礎から学ばせていただきました。部会で学ばせていただいたことは道徳の授業はもちろん、他の授業でも活かせることが多かったです。

一つの資料を基にして全員で発問や展開を考えました。
自分とは違う視点の展開を聞くこともできたので、とても勉強になりました。

課題 ポイントを絞った研究をしていくことが必要である。

紹介した工夫が多岐に渡っていて、真似しにくいところもあった。

子どもたちが工夫ばかりに目がとらわれ、ねらいに迫らないこともあった。真の魅力あふれる授業にはもう一歩だった。

～ 2会場で開催！夏季道德講座 今年度の参加者 85名 ～

名古屋市道德研究会の夏の研修会である夏季道德講座を8月28日に東桜会館で開催しました。50名の定員を大幅に超えたため、当初の予定を変更して2会場で開催しました。

今年度の講座は

- ・「いじめ防止プログラムの紹介」
- ・「とっておきの模擬授業」
- ・「私たちの道德／道德教科化の講演」

の3部構成で行いました。

～ いじめ防止プログラムの紹介 ～

昨年度、名古屋市教育委員会が作成した「いじめ防止プログラム」の詳しい説明をしました。いじめに向かわない児童・生徒を育てていく日々の実践の紹介もしました。



～ とっておきの道德模擬授業 ～

『明るい心』1年「二わのことり」を用いて模擬授業を行いました。導入では、模造紙に大きく描かれた鳥の絵を提示しました。

最初に「なんで鳥は泣いているのか」と問い掛けて、本時では涙の意味について考えることを意識付けしました。

また、展開では「うぐいす」「みそさざい」「やまがら」の関係を板書で視覚的に捉えさせ、やまがらの気持ちを中心に考えました。授業が進むにつれて受講者の視線も講師に釘付けになり、模擬授業であることを忘れていくかのように真剣に考えていました。



～ 『私たちの道德』を攻略・道德教科化を先取り ～

この講座は二人の講師で行いました。

「なぜ教科化が議論されるようになったのか」

「教科化のいいところ・心配なところは何か」

『私たちの道德』をどう活用すると効果的か」などを受講者と講師がかけ合いながら進めました。受講者からは「少し心配が薄れた」「2学期からの意欲が湧いてきた」などの感想を得ました。



本年度のあゆみ

月	日	テ マ 研 究 部 会	授 業 づ く り 研 究 部 会
4	9	研 究 部 員 募 集	
5	9	研 究 部 員 総 会	
	22	・ テーマについての共通理解 ・ 「私たちの道徳」の活用方法を 考えてみよう	・ 目指す子ども像・授業像を語り合おう ・ これは使える！導入アイデア集 資料「こわされたタワー」
6	12	・ 授業を検討してみよう①	・ 板書で子どもの目が変わる道徳の授業 資料「白いくつ」
7	22	・ 授業を検討してみよう②	・ 話し合いが深まる、とっておきの方法 資料「はしのうえのおおかみ」
8	21	・ 模擬授業で授業を検討してみよう①	・ 模擬授業 参加
	28	・ 夏季道徳講座 参加	・ 夏季道徳講座 いじめ防止プログラムの紹介 とっておきの道徳模擬授業 講演「私たちの道徳を攻略 ・ 道徳教科化を先取り」
9	8	・ 模擬授業で授業を検討してみよう②	・ こんな学習プリントもOK！？ 資料「祭りの日の拾い物」
	29	・ 模擬授業で授業を検討してみよう③	・ 迷宮入りさせない発問の仕方 資料「手品師」
10	14	「授業研究」リハーサル	授業研究リハーサル 参加
	21	道徳授業研究・研究協議会	道徳授業研究・研究協議会 参加
	27	・ 授業研究の成果と課題 ・ 会報について	・ 中学生を変えた道徳の授業 資料「カーテンの向こう」
11			
12	16	・ 研究のまとめ最終検討 ・ 研究発表会についての話し合い	・ 読み物資料なしで行う道徳の授業 「十勝バスの奇跡」
1	9	・ 研究発表会準備①	・ 道徳のタブーから見る新たな可能性 資料「泣いた赤おに」
	12	会 報	発 行
	14	・ 研究発表会準備②	・ 研究発表会準備
	19	研 究 発 表 会	リ ハ ー サ ル
	28	研 究 発 表 会	
2	9	次 年 度 へ の 方 向 性 の 検 討	
3			

※ 役員会 ①5/9 ②5/28 ③6/19 ④7/24 ⑤9/12 ⑥10/6
⑦11/19 ⑧1/16 ⑨2/17 ⑩3/25

※ 1月以降については、予定が掲載されています。

あ と が き

道徳の教科化が話題となっています。道徳教育に携わっている者として、よく「評価はどうなるの？」という質問を受けます。でも、ちょっと待ってください。評価をする際に大切なことは何か、考えてみましょう。

私たちは授業の際、様々な指導の工夫を凝らします。そして、授業の中で、子どもたちが多様な反応を見せてくれることが、評価につながっていきます。

道徳も同じです。授業を工夫し、子どもたちから多様な反応を引き出すことが、評価へとつながります。様々な工夫を凝らし、1時間1時間の授業を大切に実践することが大切なのです。

ところで、本研究会は、平成17年度から「心輝け！子どもたち」をテーマとし、今年度で10年目となります。現在は「授業づくり研究部会」と「テーマ研究部会」の二つの部会が活動しています。どちらの部会も、子どもたちの心を輝かせるために、道徳教育に求められている課題に取り組むとともに、教師一人一人が授業力の向上を目指して、研究を重ねております。

「テーマ研究部会」では、道徳の教科化という時代の流れの中で、『わたしたちの道徳』と『明るい心・人生』をどのように組み合わせると、より効果的な指導となるか、両者を組み合わせた指導方法をについて研究し、実践を重ねてきました。

「授業づくり研究部会」では、道徳の時間で様々な指導の「コツ」を工夫し、「よりよい授業＝子どもにも教師にも“魅力あふれる”授業」となるよう研究し、実践を重ねてきました。

この会報には、2つの部会の先生方が情熱をもって授業に取り組んだ記録がたくさん掲載されています。そこには、1時間の授業をつくり、実践するためのヒントがたくさん詰まっています。ぜひとも本会報を参考に、授業を工夫し、実践してくださることを願ってやみません。

今後、心の教育は今以上に大切なものとなってきます。心の教育を推進していくためにも、期待に常に応えられるような研究会でありたいと考えます。そして、今年度の実践の記録が、少しでもそれぞれの学校現場で役に立つ実践となっていることを期待しております。とはいえ、まだまだ十分な研究ではありません。この会報をご高覧いただき、気付かれたことをご指摘いただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、本研究会に対しまして格別なご指導、ご支援を賜りました先生方ならびに関係諸機関の皆様にご心よりお礼申し上げます。

名古屋市道徳研究会委員長
那古野小学校 寺尾 奨宏

会報作成資料提供者及び執筆者

岡田 陽介	(田 代 小)	熊澤 美緒	(五反田小)
竹川 加奈子	(田 代 小)	畑 直哉	(小 碓 小)
山部 あゆ	(田 代 小)	児玉 香予子	(神宮寺小)
森 由香里	(山 吹 小)	小出 禎	(上 社 小)
猪子 裕太	(東 志 賀 小)	井町 知美	(豊 田 小)
舘 勇佑	(辻 小)	森松 真理子	(柴 田 小)
真田 幹弘	(平 和 小)	尾関 基秀	(小 幡 小)
内山 幹夫	(陽 明 小)	柳田 一帆	(甘 軒 家 小)
水野 美香	(陽 明 小)	辻 昌希	(戸 笠 小)
水谷 祐基	(陽 明 小)	松下 恭平	(黒 石 小)
石田 恵将	(千 年 小)	辻 由佳	(植 田 南 小)
大橋 美紀	(八 幡 小)	北川 沙織	(平 針 北 小)